

令和7年度事業報告

一般財団法人矢掛町観光交流推進機構

事業報告書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日)

【概要】

日本国内において少子高齢化と人口減少が進行する中で、国は観光による交流人口の拡大が地域活性化に重要な要素であると考えており、また、多様な産業に関連する観光を成長戦略の柱と位置付けています。さらに、観光を通じて地域住民が自らの地域に誇りと愛着を感じることは地域社会の持続可能な発展を可能にするとともに、観光を通じて異文化を尊重し、世界の人々と交流することは外交や安全保障を支え、国際社会の自由、平和、繁栄の基盤を築く国際相互理解を増進するものとしています。

また、令和7年度は大阪・関西万博が20年ぶりに、世界陸上が18年ぶりに日本で開催され、多いに盛り上がり日本が世界に注目されました。

こうした状況の中で、矢掛町においては矢掛商店街を中心としたまるごと道の駅と分散型ホテル構想の下、観光客の満足度を高め、さらなる誘客につなげるとともに道の駅から商店街への誘客、さらに町内全域への誘客に向けた魅力ある観光環境の整備と魅力づくりがインバウンドも含め直近の課題となっています。

一般財団法人矢掛町観光交流推進機構は、こうした社会情勢をとらえ、町内の多様な観光資源の魅力を最大限に活用した観光事業を積極的に推進した。さらに、矢掛町の観光の核となる矢掛商店街を中心とした「まるごと道の駅」への誘客促進と町内の多様な魅力についての情報発信を実施した。

公益事業として、観光情報拡散事業では、ホームページ、SNS、アプリ等による情報発信をした。ラジオは毎月2本、テレビもCM含め3番組出演。また、デジタルマップを活用し、来訪者の周遊を図った。「矢掛の宿場まつり大名行列」をテレビ局と連携し、町内外への情報発信としてイベント当日だけでなく、一定期間周知しながら継続的に情報発信を行った。さらに、大阪で開催された近畿おかやま県人会と観光プレゼンテーションに参加し、岡山県にゆかりのある方や旅行者等へ町の魅力、観光施設などのPRを行った。また、ドラマロケの出演者やスタッフに昼食等のおもてなしや町のPRを行った。情報発信イベント事業では、町内への誘客及び町内の活性化を促進するため「やかげキッズフェスティバル」を企画実施し、矢掛中、矢掛高校生徒及び岡山大学学生、環太平洋大学生約60名にボランティアとして協力していただき運営し、2日間で約8,400名を誘客した。また、商店街の活性化を促進するため、商店街にある空き家や空き店舗を活用してアート作品やクラフト作品を展示販売する「やかげ作家さんぽ」を企画実施し、2日間で約2,000名を誘客した。さらに、町と沖縄県金武町がフレンドタウンシップ協定を締結したことにともない、両町の親睦とPRをするため金武町まつりで特産品の販売やパンフレット等を配布した。約1,500名がブースに来場した。観光情報誌発行事業では、町内の観光情報を毎月広報やかげへ封入及び観光施設等への設置を行った。また、観光客向けの観光みどころマップ、お食事どころ・おみやげマップを作成し観光客等へ配布した。ガイド育成事業では、観光ボランティアの会20名が出席しスキルアップを目的に接遇研修を行った。観光実態調査事業では、水車の里、町家交流館、道の駅山陽道やかげ宿に観光客及び観光事業者等に継続してアンケート調査を行い、観光ニーズを分析した。

イベント誘客事業では、道の駅開業から開催している「やかげ華まつり」を開催し、花の作品

展示や本陣・脇本陣での生け花展示、やかげ西町イベントでのステージイベント、別会場では備中神楽の演舞や矢掛商店街を周遊するスタンプラリーも行い、約6,000名を誘客した。また、重要伝統的建造物群保存地区5周年を記念して本陣での生け花パフォーマンスや周遊ガイドツアー、つきたてのおもちを振る舞うなど約2,000名を誘客した。地域観光資源開発事業では、さつまいもキャンペーンをPRするため、さつまいもを植え、いも掘り体験を企画し農業体験のコンテンツを開発した。町内企業連携商品開発では、矢掛中学校と連携し、中学生が考案した商品を商品化し矢掛中学校のイベントで発表した。また、ビジターセンター問屋の来場記念スタンプを開発し誘客した。

特産品開発事業では、矢掛町のイメージ戦略として「クリームソーダ」を素材に若者等の集客を目的としたキャンペーンを企画し、飲食店27店舗と協働で実施した。キャンペーン期間を約2カ月間とし、約13,000名を誘客した。また、秋には「さつまいも」を素材に飲食店と連携して、キャンペーンを企画し、飲食店27店舗と協働で実施した。キャンペーン期間を約3カ月間とし、約10,000名を誘客した。さらに、矢掛町の新たな特産品として開発した日本酒のお披露目会をし、ステージイベントやマグロの解体ショーなどで花を添え、約200名を誘客した。

多言語化事業では、インバウンドの受入れ環境整備や分析を事業者等と情報共有をした。

収益事業としては、矢掛ビジターセンター問屋の指定管理を受託し、施設の維持管理を行いながら道の駅山陽道やかげ宿と連携した情報発信や観光客を商店街や町内の観光スポットへ誘客した。

アルベルゴ・ディフーズ（分散型ホテル）や古民家再生事業、まるごと道の駅や重伝建選定による観光の取組状況等についての視察受入を行った。また、大学からの要望により、外国人留学生を受入れ、本陣、備中神楽の見学や地元高校生との交流、日本の文化体験などをした。

酒類の販売では、町内をはじめ町外やふるさと納税返礼品にも登録しPRや販売促進に努めた。

【重点業績評価指標（K P I）】

K P I		2019 年度 実績	2020 年度 実績	2021 年度 実績	2022 年度 実績
延べ宿泊者数（人）		6,869	6,184	5,982	7,556
観光入込客数（人）		334,498	275,645	524,024	554,567
観光消費額（円）	日帰 観光客	2,356	2,436	2,366	2,744
	宿泊 観光客	17,922	20,273	18,951	17,777
リピーター率（％）		64.70	70.95	68.67	69.25
観光客満足度（％）		84.00	86.16	86.63	90.05
WEBサイト アクセス件数（件）		167,292	150,332	160,029	159,374

K P I		2023 年度 実績	2024 年度 実績	2025 年度 目標	2025 年度 実績（速報値）
延べ宿泊者数（人）		6,704	7,930	4,603	2,817
観光入込客数（人）		581,411	554,709	399,080	486,405
観光消費額（円）	日帰 観光客	2,611	2,042	2,689	2,116
	宿泊 観光客	24,833	17,410	25,578	11,019
リピーター率（％）		65.40	68.90	65.00	62.70
観光客満足度（％）		93.46	93.30	86.00	91.90
WEBサイト アクセス件数（件）		48,706	172,119	50,167	46,334

※延べ宿泊者数＝一譚泊者数+備中屋宿泊者数+蔵 INN-KAMON 宿泊者数+蔵 INN-KURABI 宿泊者数

※観光入込客数＝岡山県報告数値（暦年）※観光消費額＝アンケート調査から算出した額

※リピーター率＝アンケート調査から算出した数値 ※観光客満足度＝アンケート調査から算出した数値

※WEBサイトアクセス件数＝矢掛町観光ホームページアクセス件数（矢掛町観光ホームページは令和 6 年度末をもって DMO の観光ホームページに 1 本化されたため、2023 年度からのサイトアクセス件数は DMO のホームページアクセス件数となっています。）

※2025.4 月～9 月は一譚改修工事（本館・別館）のため、延べ宿泊者数、観光入込客数を減数

1. 観光情報戦略推進事業

(1) 観光情報発信強化事業

町、県、株式会社やかげ宿、やかげまるごと商店街振興会等と矢掛町の情報発信等について意見交換・情報共有を行った。

(2) 観光情報拡散事業

・観光ホームページ、SNS、アプリ等による情報発信

ホームページ等を活用し、矢掛町における観光情報を発信した。また、プラチナマップや SNS (Instagram) を活用し、情報発信を行った。

・テレビ・ラジオ等による情報発信

観光情報等についてメディアを通じて発信を行った。実施内容は次のとおり。

会社名等	区分	番組名称等	内容	放送時期等
山陽放送 (RSK)	AM ラジオ	あもーれ!マッタリーノ	矢掛町の旬な話題	毎月1回(全12回) 第4木曜16時頃～
岡山シティエフエム (レディオモモ)	FM ラジオ	街ブラ RADIO Your Home Town やかげ (おはよう矢掛通信)	矢掛町の旬な話題	毎月1回(全12回) 第1土曜9時～9時30分
テレビせとうち	テレビ	テレビCM	矢掛の宿場まつり大名行列	令和7年10月28日～ 31日まで(8回)
山陽放送 (RSK)	AM ラジオ	あもーれ!マッタリーノ	やかげ華まつり	令和8年3月19日 10時頃～
山陽放送 (RSK)	テレビ	ライブ5時いまドキッ	やかげ華まつり	令和8年3月13日 17時頃～
FM福山	ラジオ	月曜♪きらリズム	矢掛町の観光等について	令和7年4月14日 9時20分頃～
岡山放送 (OHK)	テレビ	テレビCM	DMO紹介	令和8年1月1日～10日

矢掛商店街及び町内全域への周遊促進のためスマートフォン等で閲覧可能なデジタルマップ(プラチナマップ)を活用し、来訪者の周遊を図った。

【プラチナマップビュー数・利用者数】

ビュー数 約46,000回

利用者数 約21,000名

また、「矢掛の宿場まつり大名行列」と連携して、町内への誘客と知名度向上を目的にイベントチラシやポスターの作成配布やテレビ、新聞、SNS等での情報発信を行った。

【チラシ作成】

【テレビCM】

イベントチラシ：14,500枚 20本

かわら版：7,000枚

さらに、イベント開催1週間前には商店街に大名行列開催のペナントの取付をし、町民及び観光客へイベントの周知を行った。

また、小田夏まつり実行委員会と連携して、町内への誘客と知名度向上を目的に小田夏まつりイベントチラシの作成・新聞折込やSNS等での情報発信を行った。

【チラシ作成・折込】

3,400枚

8月22日（金）に大阪・関西万博で開催された県主催のおかやま「桃太郎の夏休み」と題した県をPRするイベントに参加し、町と共同で出展しPRした。

パンフレットの配布のほか、特産品や日本酒を提供し国内外の方へ矢掛町の魅力発信に努めた。



10月2日（木）に大阪で開催された近畿おかやま会「岡山人の集い」に参加し、関係者へ矢掛町の観光PRと日本酒の提供を行った。矢掛町出身の方もおられ、魅力発信に努めた。



12月15日（月）に亀島キャンプ場で、NHK BS ドラマロケの撮影の対応として、町と共同で町のPRとおもてなし（昼食、飲物の提供、町特産品（お菓子等）の提供、ストーブの貸出し）を行った。（演者、スタッフ約60名）



2月17日（火）に大阪で開催された晴れの国おかやま観光観光プレゼンテーションに参加した。矢掛町の特産品や日本酒のPRを含む観光プロモーションを矢掛町ブースに来場した観光関係者へ行き、矢掛町の魅力発信に努めた。



(3) 情報発信イベント事業

矢掛商店街及び矢掛町全体がまるごと道の駅という構想により、町内への誘客及び町内の活性化を促進するため「やかげキッズフェスティバル」を企画実施した。矢掛町総合運動公園を会場にし、町内外の小学生以下の子供をターゲットとして子供が楽しめる内容のイベントを検討し、開催日数も例年同様2日間に設定し実施した。

また、矢掛中学校、矢掛高校の生徒及び岡山大学、環太平洋大学の学生約60名にボランティアとして協力していただき運営した。SNS等を活用し、矢掛町の情報発信に努め、多くの来場者をもたらし、同時に矢掛商店街等のPRも行い町内の周遊促進を行った。

【実施日】令和7年9月27日・28日【来場者数】約8,400名（2日間）





また、町内外からの誘客と道の駅山陽道やかかげ宿から矢掛商店街に観光客を誘導し、商店街の活性化を促進するため、商店街にある空き家や空き店舗を活用してアート作品やクラフト作品を展示販売する「やかげ作家さんぽ」を企画開催した。さらに、コインケースやアクセサリ等が作れるワークショップを開催することで子供から大人まで体験を通じてイベントを楽しんでいただきながら、滞在時間の延長に努めた。

【実施日】

令和7年10月4日～5日（2日間）

【出店数】

20店舗

【来場者数】

約2,000人





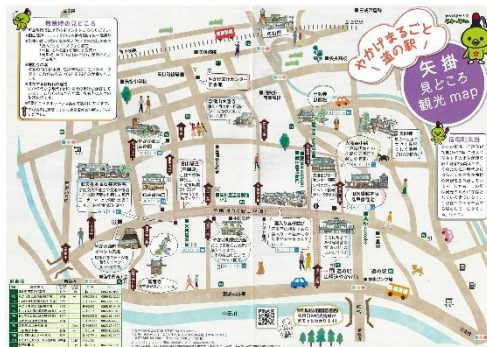
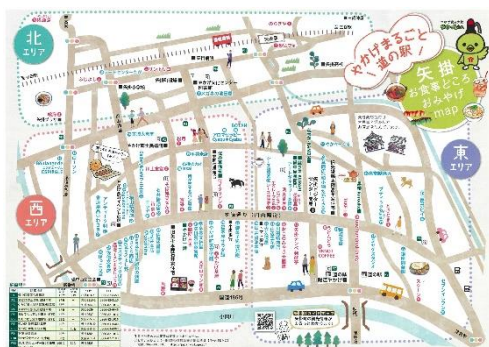
(4) 観光情報誌発行事業

今年度も矢掛町の観光情報を定期的に発信する観光情報誌を編集・発行し広報やかげへの封入，観光施設等への設置を行った。

【発行数】

68,400枚 (5,700枚×12ヶ月)

また，例年発行している観光客向けの観光みどころマップ，お食事どころ・おみやげマップを修正し，観光客等へ配布した。



(5) 関係人口獲得事業

関係人口の獲得に向け，水車の里，はなしの里等の町内観光事業者と情報共有を行った。

(6) ガイド育成事業

観光客等へおもてなしや町の魅力紹介を行っている観光ボランティアの会のスキルアップを目的に接遇研修を行った。

【研修日】

令和8年2月16日(月)

【研修参加者】

20名

(7) 観光実態調査事業

矢掛町を訪れる観光客及び観光事業者等に継続してアンケート調査を行い、観光ニーズを分析した。水車の里、やかげ町家交流館、道の駅山陽道やかげ宿にてアンケートを実施した。

【アンケート実施期間】

令和7年5月～令和8年2月

【アンケート件数】1,330件

2. 観光推進体制強化事業

(1) 町内連携強化事業

水車の里、はなしの里等の町内観光事業者と情報交換を行った。

(2) 周辺地域連携強化事業

井笠広域観光協会、井原線沿線観光連盟等の周辺観光事業者との情報交換、情報共有を行った。

(3) 観光持続化検討事業

当財団の収益強化について検討を行った。

3. 観光受け入れ体制整備事業

(1) 景観美化事業

景観スポット等の景観保持のための美化活動の検討を行った。

(2) 観光地周遊手段検討事業

観光スポットの周遊手段について関係各所との打ち合わせも含め、調査検討を行った。

(3) 町並み景観検討事業

町と連携して、矢掛商店街を中心とした景観整備について検討を行った。

4. 観光商品開発事業

(1) 宿泊コンテンツ連携事業

宿場町スタイルの観光について、情報発信を行いながら他事業におけるアンケート調査において宿泊者の割合、観光消費額等について調査を行った。

(2) イベント誘客事業

矢掛町矢掛宿重要伝統的建造物群保存地区選定5周年の記念イベントを観光関係団体等と連携し、本陣での生け花パフォーマンス、本陣・脇本陣特別公開、重伝建エリアの周遊ガイドツアー、スタンプラリーや子どもが遊べる縁日など盛りだくさんの内容で行った。また、町内農業団体につきたてのおもちを振る舞ってもらい矢掛商店街への誘客を行った。

【実施日】令和7年12月14日

【来場者数】約2,000人



矢掛町の春のイベントとして町民や観光関係団体等と連携し、花の作品展示や日曜朝市、ステージイベントなどを一体的に開催することで、矢掛商店街への誘客を行った。花の作品展示には華道団体、フラワーアレンジ教室や地域住民のグループ9団体に参加いただき、矢掛商店街10カ所で作品展示を行った。また、やかげ西町ステージイベント会場では町内及び近隣から鼓の演奏や太鼓の演奏など、各種団体に参加いただき会場を盛り上げていただいた。本陣・脇本陣では町出身江木氏の生け花展示を行った。また、商店街全体の周遊を促進するため別会場（元町）では備中神楽の演舞や矢掛商店街を周遊するスタンプラリーも行った。

【実施日】 令和8年3月22日

【来場者数】 約6,000人



(3) 観光イベント開発事業

町と沖縄県金武町が2024年7月にフレンドタウンシップ協定を締結したことにより、両町の親睦と矢掛町のPRを行うため、金武町まつりにおいて特産品の販売やパンフレット等の配布を行った。

今後も両町の親睦及びPRを継続的に行っていく。

【実施日】 令和7年10月18日～19日（2日間）

【ブース来場者数】 約1,500人



(4) 地域観光資源開発事業

さつまいもキャンペーンのPRのため、さつまいもの植え付けや、いも掘り体験を行い、農業体験のコンテンツを開発した。

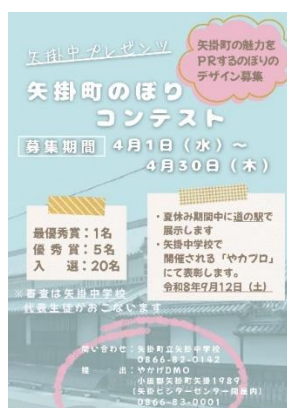


(5) 町内企業連携商品開発

矢掛中学校と連携し、中学生がアイデアを考えた商品（町産ゆずエキス配合やかっぱーフェイスマスク）を開発した。令和8年度に発売予定。



また、中学生がアイデアを考えたのぼりコンテストイベントのチラシを作成・配布しイベントの周知をよびかけた。



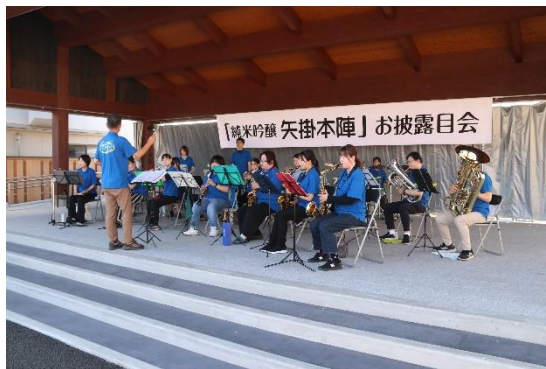
旅行者が訪れた場所の記念スタンプ（特にインバウンド客）の需要に応え、商店街やビジターセンター問屋への誘客のため、町内事業者と連携して記念スタンプを開発した。



矢掛町の新たな特産品として矢掛町産のお米（山田錦）を使った日本酒（純米吟醸矢掛本陣）の商品開発を行い、6月20日から販売した。
 発売を記念し、西町イベント広場でお披露目会を実施し、ステージイベントのほか、マグロの解体ショー&振る舞いや子どもも楽しめる縁日も実施し誘客とPRに努めた。

【実施日】令和7年7月12日

【来場者数】約200人



(7) 夜間商品開発事業

夜間滞在に係る商品開発の検討を行った。

(8) ツアー商品開発事業

町内ツアー、近隣ツアーなどを参加対象者の年齢層等を考え検討を行った。

5. インバウンド誘客事業

(1) 多言語化事業

インバウンドの受入れ環境整備等について、事業者等と情報共有を行った。

(2) 在住外国人連携事業

(株) やかげ宿と連携し国際フェスティバルの情報発信を SNS 等により行った。

(3) インバウンド魅力化事業

インバウンド商品の調査・分析を行った。

■収益事業

1. 矢掛ビジターセンター管理・活用事業

矢掛ビジターセンター問屋の指定管理を受託し、施設の維持管理を行うと共に道の駅と連携した情報発信や観光客を商店街へ誘客した。

【令和7年度年度来場者数】 28,012人

2. 視察受入事業

アルベルゴ・ディフーズや古民家再生事業にまるごと道の駅や重伝建選定による観光の取組への視察受入対応を行った。

視察受入件数：6件



3. CLS プログラム受入事業

米務省「重要言語奨学金（CLS）プログラム」（国家安全保障や経済発展の観点から重要な役割を果たす人材の養成を目的とした米務省が実施しているプログラム）の派遣先である岡山大学からの依頼を受け、外国人留学生 25 名の受入を行った。【実施日 7月5日（土）】

体験メニューについては下記の通り。

- ・ 矢掛の町歩き（本陣・石井醤油店見学）
- ・ やかげ茶屋でランチ
- ・ 備中神楽見学
- ・ 矢掛高校生と交流
- ・ 桃源郷はなしの里でピザ作り体験・かき氷・流しそうめん・スイカ割り



4. 酒類販売事業

新たな特産品として純米吟醸矢掛本陣を令和7年6月20日から販売を開始した。販売はビジターセンター問屋をはじめ、町内の小売業者、飲食店、町外の飲食店、とっとり・おかやま新橋館で購入することができ、ふるさと納税返礼品にもした。

また、発売年であることから、観光PRの際には試飲として提供しPRに努めた。

